

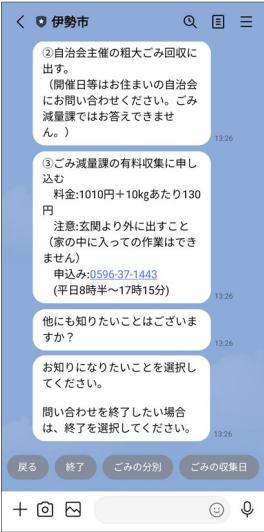



# 事業概要 【伊勢市LINE公式アカウントを活用したデジタル市役所の構築】

|        |  |  |   |   |
|--------|--|--|---|---|
| 実施地域   | 三重県伊勢市   | 事業費  | 2,455千円   |   |
| 実施主体   | 三重県伊勢市、株式会社Bot Express、株式会社オフィスメーション   | 人口   | 120,751人（R4.12.1現在）   |   |
| 事業概要   | <p>これまで市政情報や各種催し物の開催情報などは広報誌等の紙媒体を中心に届けてきたが、リアルタイムに情報が届けられないなどの課題があったことから、LINE公式アカウントを活用して案内を行っている。今後は、粗大ゴミ収集申込やLINEでのマイナンバーカード交付予約などの新サービスも導入し、多種多様な行政サービスをオンライン上で届けられるデジタル市役所を目指して、LINEの活用を進める。</p>  |  |   |   |
| 具体サービス | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Govtech Expressサービス（情報発信LINEシステム）                         <ul style="list-style-type: none"> <li>【令和5年度実装予定の機能】</li> <li>・粗大ゴミ申込の受付機能の追加</li> <li>・情報発信カテゴリーの細分化</li> <li>【令和6年度以降の実装に向けて検討中の機能】</li> <li>・道路・施設等情報通報機能の実装</li> <li>【実装済みの機能】</li> <li>・24時間問合せ可能な案内チャットボット機能</li> <li>・防災情報メールと連携した情報発信</li> <li>・オンライン化された行政手続きの案内</li> <li>・一時保育予約などの子育てに関する手続き</li> </ul> </li> <li>○ マイナンバーカード交付予約・管理システム</li> <li>・マイナンバーカードの交付予約申請受付・管理</li> </ul> |  <p>ホーム画面</p>  |  <p>現在の受信設定画面</p> |  <p>ゴミ分別チャットボット</p> |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 伊勢市LINE公式アカウントアクティブユーザー数</li> <li>② カテゴリー別受信設定者数</li> <li>③ 粗大ゴミ収集LINE申込件数</li> </ol>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① LINE公式アカウント利用者アンケートにおける満足度</li> <li>② 情報配信に関する回数を適切だと回答した人数</li> <li>③ 粗大ゴミ収集申込機能の利用満足度</li> </ol> |   |   |

# 事業概要 【LINEを活用した誰もが相談しやすい窓口の設置】

|  |  |     |                     |
|--|--|-----|---------------------|
| 実施地域   | 三重県伊勢市   | 事業費 | 4,075千円             |
| 実施主体   | 三重県伊勢市、タビコム株式会社  | 人口  | 120,751人（R4.12.1現在） |
| 事業概要   | <p>LINEを活用した窓口を属性別（高齢・介護、障がい、子ども、生活困窮・ひきこもり）に4アカウント設置し、気軽に相談しやすい環境を整備することで、支援が必要な方に必要な支援が届くようにする。</p> <p>また、相談内容やこれまでの履歴を一元管理し、複数の担当者がそれぞれの状況を共有することで、重層的・包括的な相談支援体制を強化していく。</p>   |     |                     |
| <p>具体サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ aukio</li> <li>・ 複数の担当者が同時に相談受付を実施。</li> <li>・ 相談内容や履歴等をシステム上で確認できる。</li> <li>・ 相談者は、「相談する」ボタンを押すだけで、相談対応担当者に接続可能。</li> </ul> |  <p style="text-align: center;"> <span>高齢・介護</span>      <span>障がい福祉</span>      <span>子ども家庭相談センター</span>      <span>その他福祉</span> </p> |     |                     |
| <p>主なKPI</p> <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>① 「福祉相談LINE」相談件数</p>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>① 相談から支援につながった件数</p> <p>② 相談が多機関協働事業等につながった件数</p>  |     |                     |

## 事業概要 【要介護認定調査業務のデジタル化事業】

|        |  |  |          |
|--------|--|--|----------|
| 実施地域   | 三重県桑名市   | 事業費  | 7,820千円  |
| 実施主体   | 三重県桑名市、株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター  | 人口   | 139,537人 |
| 事業概要   | <p>認定調査のDXを推進し、要介護者が安心して必要な介護サービスを利用できるようにする。<br/>         要介護認定の申請者が年々増加する中で、認定調査に係る業務負担の増大も一因となり、認定までに要する日数も長期化し、申請者の適切・迅速なサービス利用に繋げることができないという課題がある。<br/>         業務のデジタル化で、調査事務作業効率化や調査票の品質向上の効果により、上記課題解決を目的とする。</p>                            |  |          |
| 具体サービス | <p>【調査員支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末による調査表作成支援サービス<br/>             選択項目等のAIチェック機能<br/>             特記事項のテンプレート活用による効率化<br/>             入力データのアップロードによる調査票作成スケジュール管理機能<br/>             画面転送型アプリによるセキュリティ向上</li> </ul> |  <p>調査員支援システム</p>  |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①調査票作成件数</li> <li>②調査票作成に要した日数</li> </ol>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①申請から認定に要した日数</li> <li>②要介護認定者における重度者の割合</li> <li>③要介護認定者における改善度の割合</li> </ol> |          |

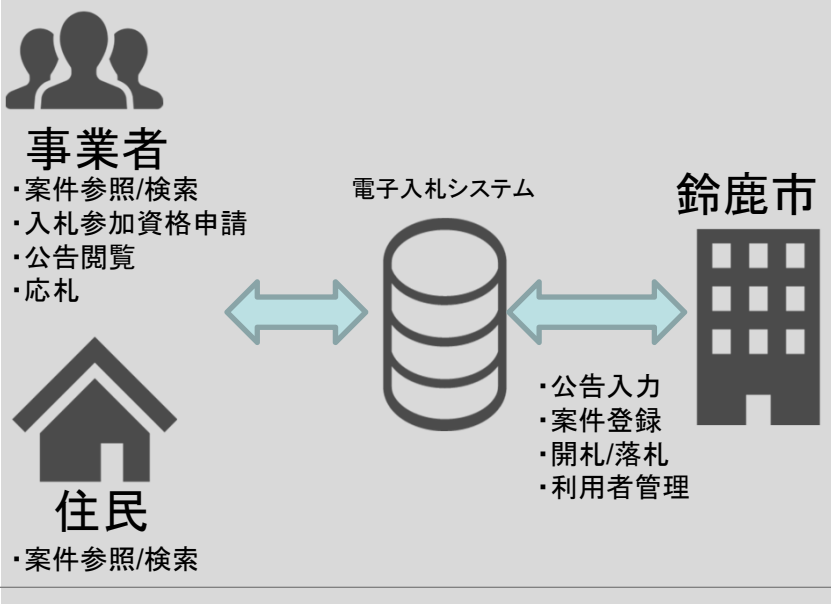
# 事業概要 【書かないワンストップ窓口推進事業】

|        |   |  |          |
|--------|---|--|----------|
| 実施地域   | 三重県桑名市  | 事業費  | 49,701千円 |
| 実施主体   | 三重県桑名市  | 人口   | 139,537人 |
| 事業概要   | <p>・BPRを実施し、確認された課題に対応する窓口業務支援システムを利用することにより、申請書の記載を始めとする来庁者の負担を軽減し、書かない、待たない、回らない窓口を実現する。</p>  |  |          |
| 具体サービス | <p>【窓口業務支援システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転出証明書をもとに、異動届を作成することで、「書かせない」窓口を実現<br/>(転出証明書に記載のない項目は、ヒアリングを行いながら、異動届を完成)</li> <li>・住民へのヒアリングや、住民の属性（世帯構成や年齢）に応じて必要な手続きを絞り込み、手続き案内表および申請書をお渡しすることで、「迷わない」窓口を実現</li> <li>・住民異動届（電子データ）をもとに、住民記録システムへ登録を行うことで、「待たせない」窓口を実現</li> <li>・BPRの実施結果をもとに、「窓口DXSaaS」などの民間サービスから、窓口業務に最適な支援システムを導入する</li> </ul> | <p style="text-align: center;"><b>住民サービスの向上と窓口業務の効率化を目指して</b></p> <p><b>住民目線の「わかりやすい」「やさしい」を理想とした基本思想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>書かない窓口</b> 受付窓口担当が来庁者から住所・氏名などを聞き取り、必要事項を印字した申請書を作成する機能をご提供致します。</li> <li><b>何度も聞かない窓口</b> 来庁者が、これまでに、いつ、何を、どこまで手続きしてきたかの状況や経過を引き継ぎ、共有できる機能をご提供致します。</li> <li><b>手続き漏れない窓口</b> 申請対象者の状況に応じ、申請できる手続きがリストアップされ、まとめて案内・受付できる機能をご提供致します。</li> </ul> <p><b>窓口業務支援システム</b></p> <p><b>変化に強いシステム</b><br/>「汎用的な器」をキーワードに開発し、時間経過による変化(手続きの追加・申請書の変更など)、運用環境の変化にも、柔軟に対応可能なシステムです。住民基本台帳をはじめとした既存の業務システムに関わらず、<b>外付けで導入が可能</b>です。業務システムとのデータ連携プログラムは、汎用化しているため、自治体様の運用環境に合わせて導入できます。</p> <p><b>オープンソースソフトウェアの活用</b><br/>Rubyを開発言語の中心とし、全てオープンソースソフトウェアを活用して構築しております。<b>ソフトウェアライセンス費用を削減</b>し、開発・導入・運用コストを抑えることが可能です。</p> <p>自治体様の現況に合わせた<br/>スモールスタートに最適です</p> <p>証明書受付業務の効率化</p> <p>申請書受付業務の効率化</p> <p>総合窓口・ワンストップサービス<br/>(将来構想として活用可能)</p> |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ワンストップ対応可能となったライフイベント数</li> <li>②来庁者の平均処理時間</li> <li>③</li> </ol>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①支援システム満足度（利用者）</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>   |          |

## 事業概要 【証明書コンビニ交付事業】

|        |  |  |          |
|--------|--|--|----------|
| 実施地域   | 三重県鈴鹿市、全国  | 事業費  | 7,268千円  |
| 実施主体   | 三重県鈴鹿市、株式会社三重電子計算センター  | 人口   | 196,571人 |
| 事業概要   | 住民記録や税，戸籍等，既存業務システムとサービス提供事業者のシステムをL G W A Nを介して接続することにより，全国のコンビニエンスストア等の端末から，各種証明書類の取得を可能とするシステムを更新する。窓口の混雑を緩和させると共に住民の利便性を向上させる他，サービスの利用に当たりマイナンバーカードを用いることで，マイナンバーカードの普及促進を図る。  |  |          |
| 具体サービス | <p>【証明書交付サービス】<br/>コンビニエンスストア等の端末からマイナンバーカードを利用して各種証明が取得できる。</p> <p>【コンビニ交付の対象となる証明書の種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民票の写し</li> <li>・印鑑登録証明書</li> <li>・税証明書</li> <li>・戸籍証明書</li> <li>・戸籍の附票の写し</li> </ul> |  |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①コンビニ交付サービス利用者数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①マイナンバーカード交付枚数</li> <li>②アンケートによる利用満足度調査</li> <li>③</li> </ol> |          |

## 事業概要 【電子入札システム運用事業】

|        |  |   |          |
|--------|--|---|----------|
| 実施地域   | 三重県鈴鹿市、全国  | 事業費   | 11,298千円 |
| 実施主体   | 三重県鈴鹿市、富士通Japan株式会社 三重支店   | 人口  | 196,571人 |
| 事業概要   | <p>入札事務をインターネット回線を利用し実施することで、入札参加者の負担軽減・利便性向上を図ると共に、入札の透明性・公平性を高める。加えて導入により入札参加事業者を一堂に集める必要をなくし入札事業者の負担軽減を図る。また、本システムを用いてオープンカウンター方式(一般競争に準じて公募形式により広く見積書の提出を募り、契約の相手方を決定する方式)による見積を行うことにより事業者が新規参入しやすい環境を整える。</p> |   |          |
| 具体サービス | <p>【鈴鹿市電子入札システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鈴鹿市ホームページを通じて入札に関する情報を取得し、落札状況の確認まで行うことができる。</li> <li>システムを通じて応札及び審査資料の提出を行うことができる。</li> </ul>   |             |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①システム利用した見積件数の割合</li> <li>②電子入札システム利用登録者数</li> </ol>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電子入札システムを利用した見積の利便度割合</li> </ol> |          |

## 事業概要 【会議録の公開迅速化】

|        |  |  |          |
|--------|--|--|----------|
| 実施地域   | 三重県鈴鹿市   | 事業費  | 2,028千円  |
| 実施主体   | 三重県鈴鹿市   | 人口   | 196,571人 |
| 事業概要   | 市のホームページにて公開している審議会の会議録について、音声認識ソフトを導入することで、職員が会議録を作成するのに要する時間を短縮し、会議開催から会議録公開までの期間を短くすることで、市民への迅速な情報提供を図る。  |  |          |
| 具体サービス | <p>【音声認識ソフト利用会議録作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各所属は、会議開催時に音声認識ソフトがインストールされた専用の端末にて会議を録音し、会議の進行と同時に会議録を自動で書き起こし、その場で職員による編集を行う。</li> <li>会議後は細かな修正を行い、公開処理へ移る。</li> </ul> |  |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①専用端末稼働日数</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市民アンケートによる利用満足度</li> <li>②会議開催から公開までの日数（平均）</li> <li>③</li> </ol> |          |

## 事業概要 【AI及びOCR技術を活用した市民サービスの向上】

|        |  |   |          |
|--------|--|---|----------|
| 実施地域   | 三重県鈴鹿市   | 事業費   | 734千円    |
| 実施主体   | 三重県鈴鹿市、NTTビジネスソリューションズ株式会社   | 人口  | 196,571人 |
| 事業概要   | 紙媒体で検診実施医療機関から市に提出される検診結果を、AI-OCR技術を活用し電磁記録化をすることで、迅速かつ正確に各システム、マイナポータルへ反映することができ、従来より早く市民が検診情報の確認を行えるようにするもの。受診してから閲覧可能までの期間を短縮し、市民の利便性向上を図る。   |   |          |
| 具体サービス | <p>【AI-OCRライセンス使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙媒体の検診票を電磁記録化し、健康管理システムから中間サーバーに情報を登録する。</li> </ul> <p>【健診結果閲覧サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人がマイナポータルでの検診情報の確認ができる。</li> </ul> |   |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①中間サーバーへの検診結果登録率</p>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①市民の健康寿命の延伸<br/>②健康管理システムへの入力日数の短縮率</p> |          |



## 事業概要 【多言語による行政情報の配信サービス】

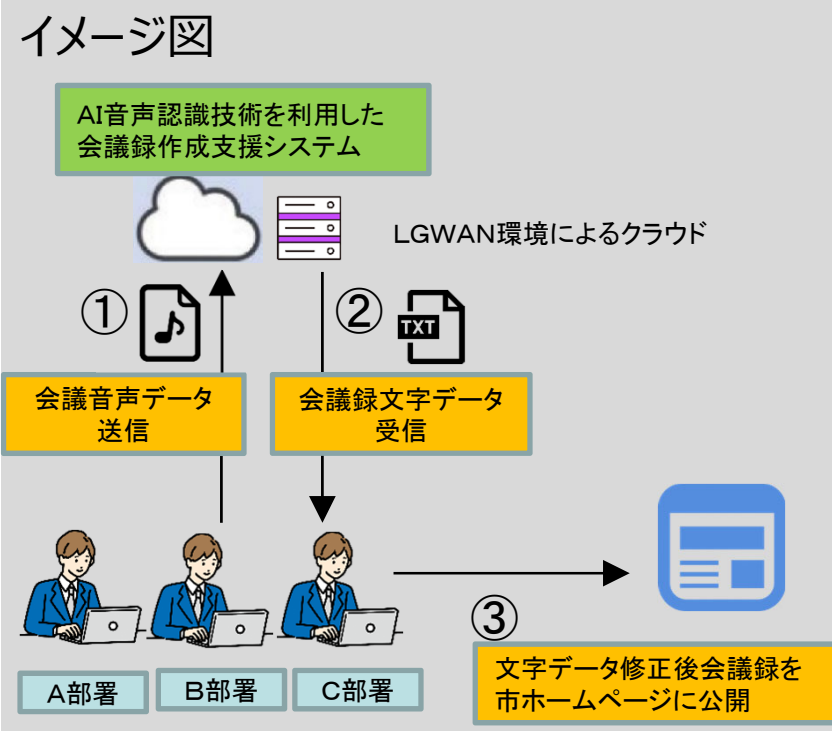
|        |  |   |          |
|--------|--|---|----------|
| 実施地域   | 三重県鈴鹿市   | 事業費   | 528千円    |
| 実施主体   | 三重県鈴鹿市、株式会社モリサワ  | 人口  | 196,571人 |
| 事業概要   | <p>(株)モリサワが提供するアプリ「カタログポケット」を導入することで、日本語の行政情報を多言語（10言語）への機械翻訳が可能となり、外国人市民に母国語での情報発信が可能となるもの。多言語での情報発信を実現することにより、国籍問わず行政情報の格差をなくし、外国人にも暮らしやすいまちづくりを目指す。</p> |   |          |
| 具体サービス | <p>【多言語による行政情報の配信】</p> <p>・アプリ「カタログポケット」に本市の広報誌「広報すずか」をベースとした外国人市民にとって有益な行政情報を掲載することで、多言語（機械翻訳）による情報発信を実現するもの。</p>   | <div data-bbox="1227 598 2033 1284" data-label="Image"> <p>日本語の印刷物をデジタルブック化<br/>多言語閲覧+音声読上げ</p> <p>This is オオサカ<br/>=The なにわ区<br/>本館の機能・メンテナンスは<br/>こちらが担当です！</p> <p>Shinsekai<br/>If I'd like to go to a place appropriate for Osaka.<br/>Shinsekai is recommended!</p> <p>The site of the 5th time domestic industrial exhibition held in 1903 (1903), the west side, a new world and the east side were maintained as Tennoji Park. It's said to be origin that a name of Shinsekai aimed</p> </div> |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①各記事のダウンロード数<br/>②<br/>③</p>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①アンケートによる利用満足度調査<br/>②<br/>③</p>  |          |

## 事業概要 【市政情報配信・電子申請化事業】

|   |  |     |         |
|---|--|-----|---------|
| 実施地域  | 三重県名張市   | 事業費 | 1,980千円 |
| 実施主体  | 三重県名張市   | 人口  | 76,255人 |
| 事業概要  | <p>コミュニケーションツールとして利用率の高いLINEを利用して市政情報、イベント情報、行政サービスの周知、防災に関する情報など、様々な情報をピンポイントで必要な方に届ける仕組みを構築するとともに、同システムを利用して電子申請・申し込みが可能な環境を構築する。来庁することなく、必要な情報の取得や申請できる環境を構築することで市民の利便性向上を図ります。</p>       |     |         |
| <p>具体サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政情報配信</li> <li>・ イベント情報配信</li> <li>・ 防災情報配信</li> <li>・ 子育てに関する情報配信</li> <li>・ ごみの収集情報配信</li> <li>・ 電子申請・申し込み</li> </ul> | <p>【市政情報配信・電子申請】</p> <p>市広報誌、市公式SNS、市ホームページで 市政情報、イベント情報、行政サービスの周知、防災に関する情報などの周知を行っていますが、従来の配信方法にLINEを利用したセグメントでの配信を加え、対象者に対しピンポイントで情報提供を行う。また、同システムの機能を利用し、電子での申請・申し込みを行う。</p> <p>イメージ図</p> |     |         |
| <p>主なKPI</p>  | <p>【アウトカム指標（活動指標）】</p> <p>①名張市公式LINEアカウントの友達登録者数<br/>②名張市公式LINEアカウントからの情報発信数</p> <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①現在の名張市の情報提供や広聴制度について満足している市民の割合<br/>②LINEを利用したセグメント配信の利用満足度</p>                  |     |         |

## 事業概要 【会議録公開迅速化事業】

|               |  |   |         |
|---------------|--|---|---------|
| 実施地域          | 三重県名張市   | 事業費   | 517千円   |
| 実施主体          | 三重県名張市   | 人口  | 76,255人 |
| 事業概要          | <p>市民等に対し、市ホームページ上に審議会・委員会の会議録を公開しているが、人による文字起こしのため、公開までに期間が必要となっている。近年急速に発達しているA I 音声認識技術を利用した会議録作成支援システムを活用することで、会議録作成を半自動化し、従来よりも短時間で公開できるようにする。</p>  |   |         |
| <p>具体サービス</p> | <p>【会議録公開迅速化事業】<br/>市ホームページで公開している審議会・委員会の会議録について、人に依存する文字起こしを行っている。A I 音声認識技術を利用した会議録作成支援システムを活用することで会議録を半自動化で作成する。人による文字起こし作業を最小限にすることで、従来よりも短時間で会議録を公開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A I 音声認識技術を利用した会議録作成支援システムを利用することによる会議録公開の迅速化</li> </ul> |   |         |
| <p>主なKPI</p>  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】<br/>①会議録公開までに要する期間</p>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】<br/>①現在の名張市の情報提供や広聴制度について満足している市民の割合</p> |         |

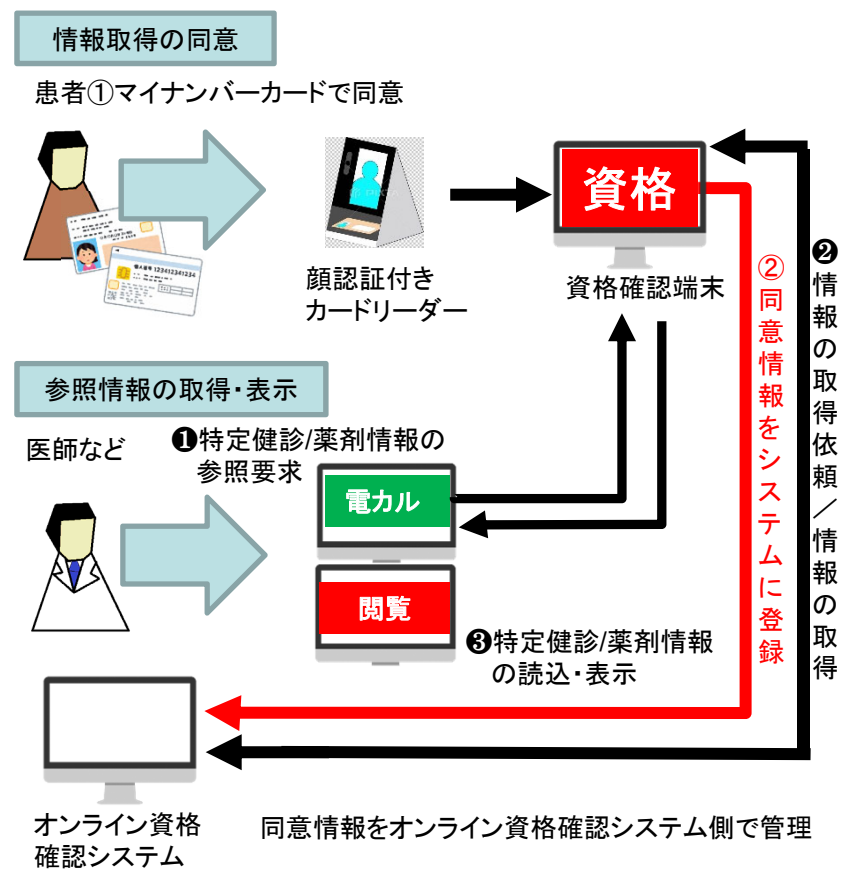


## 事業概要 【電子カルテリモート診療システムの導入事業】

|        |   |  |         |
|--------|---|--|---------|
| 実施地域   | 三重県名張市  | 事業費  | 2,651千円 |
| 実施主体   | 名張市立病院  | 人口   | 76,255人 |
| 事業概要   | <p>特定のPC端末から院内のサーバーへ接続し、リモートでカルテの閲覧、記入が可能となることにより、救急外来等で専門医が自宅で診察補助を行ったり、訪問先での診療を行う体制を構築する。これにより、迅速かつ適切な医療提供を可能とする。</p>   |  |         |
| 具体サービス | <p>名張市立病院で活用している電子カルテは、現在、院内だけにおいて使用可能になっているが、専用回線を用いて、特定の端末のみ、院外でも利用を可能とします。</p> <p>【具体的活用例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時（救急外来や患者急変時）に自宅にいる専門医がリモートによりカルテ情報を閲覧、記入をリアルタイムで行うことにより、院内スタッフと連携した医療の提供が可能。</li> <li>・コロナ感染で長期不在の場合も、医師による電子カルテ情報の閲覧し診療支援が可能。</li> <li>・訪問診療であっても、その場でカルテの閲覧や予約の取得などが可能。</li> </ul> | <p>電子カルテサーバ</p> <p>乗り込み用電子カルテ端末</p> <p>外部接続用ルータ</p> <p>ケーブルテレビ回線</p> <p>自宅端末</p> <p>リモートデスクトップ接続</p>             |         |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①訪問診療で当サービスを利用した件数</li> <li>②救急外来において専門医が当サービスを利用した件数</li> <li>③</li> </ol>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域医療に満足している市民の割合</li> <li>②</li> <li>③</li> </ol> |         |

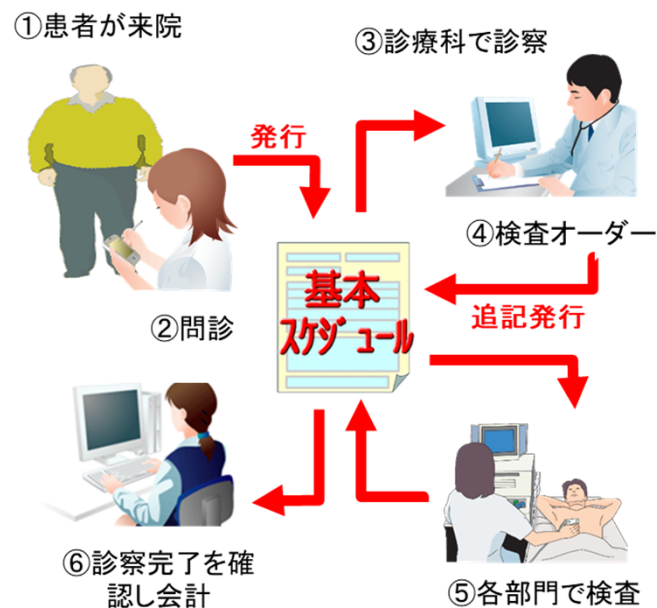
# 事業概要 【特定健診・薬歴参照サービス】

|               |   |  |         |
|---------------|---|--|---------|
| 実施地域          | 三重県名張市  | 事業費  | 1,078千円 |
| 実施主体          | 名張市立病院  | 人口   | 76,255人 |
| 事業概要          | <p>既存のオンライン資格確認システムに特定健診・薬歴参照機能を追加し、患者の特定健診の内容や過去の薬歴情報をオンライン上で参照可能とします。これにより、初診患者の円滑な対応や救急外来、災害医療時に適切な医療を提供することが可能となり、薬剤の重複投与も防止することができます。</p>  |  |         |
| <p>具体サービス</p> | <p>当院は地域医療支援病院として、開業医からの紹介や救急外来にくる初診患者が多く、適切な医療を行うために、既往や薬剤情報等の収集は重要である。しかし、患者の高齢化により従来の問診では、情報を聞き出せないことがあり、救急外来でも聞き取りができない患者も多い。本システムを活用することで、オンライン上で患者の既往歴や薬剤情報を確認することができるため、様々な場面によって適切な医療の提供が可能となる。また、かかりつけ医や他の医療機関から出されている処方内容が確認できるので、重複処方も防止し適正な処方を行うことが可能となる。</p> <p>【具体的活用例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（救急時）・処置や治療等の判断に抗凝固薬や抗血栓薬等の服用を把握する際に活用</li> <li>・降圧薬を服用している場合、緊急手術時の麻酔後に血圧が下がり手術に影響を及ぼす場合があるため、事前の把握に活用</li> <li>（退院時）治療の継続性の観点から、過去（入院前）の薬剤情報の把握に活用</li> <li>（災害時）平常時に使用してるインスリンの種類、量、用法の把握に活用</li> </ul> |  |         |
| <p>主なKPI</p>  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①情報を活用した累計件数</p>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①名張市立病院の診療に満足した患者の割合</p> <p>②初診患者の件数</p> |         |



## 事業概要 【基本スケジュール導入事業】

|               |   |   |         |
|---------------|---|---|---------|
| 実施地域          | 三重県名張市  | 事業費   | 1,318千円 |
| 実施主体          | 名張市立病院  | 人口  | 76,255人 |
| 事業概要          | <p>患者が診察当日の診察や検査の流れが一目で分かる基本スケジュールを適時発行することで患者自身が流れを把握し、外来診療がスムーズに進行するようになる。これにより患者の待ち時間の短縮及び、検査漏れの防止を図る。</p>   |   |         |
| <p>具体サービス</p> | <p>既存の電子カルテシステムを改修し、当日の患者の診察や検査のスケジュールを適時（来院時や当日の検査が追加オーダーされた際、検査が終了した際など）打ち出す。</p> <p>患者に適時スケジュールを渡すことで、1日のスケジュールが理解でき、スケジュールに沿って検査や診察を自ら進行していくことが可能となる。</p> <p>検査や診察がスムーズに進むことで、待ち時間の短縮や検査漏れの防止が可能となり、これまで口頭や手書きで行っていた検査説明等が短縮できるため、医師、看護師、事務職員の負担軽減に効果がある。</p> |   |         |
| <p>主なKPI</p>  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①スケジュール発行件数</p> <p>②</p> <p>③</p>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①外来診療に満足している患者の割合</p> <p>②外来診療に要する時間</p> <p>③外来診療での検査漏れ件数</p> |         |



# 事業概要 【アプリdeウェルネス推進事業】

|        |  |   |                  |  |
|--------|--|---|------------------|--|
| 実施地域   | 三重県亀山市全域   | 事業費   | 8,388千円 (R5)     |  |
| 実施主体   | 三重県亀山市   | 人口  | 49,835人          |  |
| 事業概要   | <p>県が実施する三重とこわか健康マイレージ事業と連携した「かめやま健康マイレージ事業」参加者の6割が高齢者層であり、若年層（20～40歳代）の参加が乏しいことから、スマートフォンアプリなど時代に即したデジタル技術を活用した施策へと転換し、市民等一人ひとりが健康習慣を実践できる環境づくりや事業者の健康経営を支援する制度を構築することで、幅広い世代への事業参画を図り、自身（自社）の健康意識の向上等へつなげる。</p>  |   |                  |  |
| 具体サービス | <p>【①健康習慣を実践できる環境づくり】<br/>         対象：市内在住または在勤の18歳以上の方<br/>         概要：健康活動（ウォーキング・体重管理・各種健（検）診の受診など）などを実施することでポイントが加算され、豪華賞品の抽選や市内共通商品券などに交換</p> <p>【②事業者の健康経営を支援する制度の構築】<br/>         対象：市内所在の従業員50人以下の中小企業及び小規模企業の事業者など<br/>         概要：健康経営の支援<br/>         ※R5は①の実装及び②の支援制度構築 [予定]</p> <p>～健康ポイント事業アプリケーションの基本性能～<br/>         歩数の自動カウント、自己申告取組の設定、自己データの設定、ランキング設定、プッシュ通知など</p> |   |                  |  |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①アプリケーションをダウンロードした累計人数<br/>         ②かめやま健康カンパニー登録事業所数<br/>         ③若年層（20～40歳代）の参加率</p>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①健康意識の向上率<br/>         ②胃がん検診の受診率</p> | <p>【事業イメージ図】</p> |  |

# 事業概要 【母子健康手帳アプリの活用による小児予防接種・乳幼児健診デジタル化事業】

|        |  |   |          |  |
|--------|--|---|----------|--|
| 実施地域   | 三重県いなべ市  | 事業費   | 14,933千円 |  |
| 実施主体   | 三重県いなべ市、母子モ株式会社等   | 人口  | 44,838人  |  |
| 事業概要   | 妊娠から出産・子育てを支援する母子健康手帳アプリ『母子モ』を活用して、予防接種の予診票・接種履歴、乳幼児健診の受診票・健診結果をデジタル化し、保護者・医療機関（健診会場）・自治体それぞれの手間を改善するとともに、ヒューマンエラーを抑制し、安全で簡便な予防接種・乳幼児健診を実現する。  |   |          |  |
| 具体サービス | <p>【母子手帳アプリ_母子モ】<br/>紙の母子健康手帳と併用し、スマホで妊娠から子育てまで切れ目なくフルサポートするアプリ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子手帳省令様式に応じた各種記録</li> <li>・子どもの月齢に応じた子育て支援情報配信 など</li> </ul> <p>【母子モ子育てDX_小児予防接種サービス】<br/>母子モに追加実装する予診票デジタル化サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『母子モ』：予診票入力・提出</li> <li>・医療機関ツール：予診票の受取・確認・入力</li> <li>・自治体ツール：予診票の取り纏め・確認 など</li> </ul> <p>【母子モ子育てDX_乳幼児健診サービス】<br/>母子モに追加実装する受診票デジタル化サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『母子モ』：受診票入力・提出</li> <li>・医療機関ツール：受診票の受取・確認・入力</li> <li>・自治体ツール：受診票の取り纏め・確認 など</li> </ul> |   |          |  |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①母子手帳アプリ登録率</li> <li>②予防接種予診票のデジタル化率</li> <li>③乳幼児健診受診票のデジタル化率</li> </ol>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタル予診票の住民利用満足度</li> <li>②デジタル受診票の住民利用満足度</li> <li>③子育て支援施策の満足度</li> </ol> |          |  |





# 事業概要 【高齢者デジタルライフ・ITポータル】

|               |   |     |                         |
|---------------|---|-----|-------------------------|
| 実施地域          | 三重県いなべ市藤原地区   | 事業費 | 32,900千円                |
| 実施主体          | 三重県いなべ市、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、ショッピングリハビリカンパニー株式会社等  | 人口  | 44,838人<br>(5,740人藤原地区) |
| 事業概要          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いなべ市藤原地区は高齢化が進行し、地域で取り組む介護予防、健康管理に向けた環境の創出が課題。</li> <li>・既存介護施設に高齢者向けのITポータルを整備し、デジタルを活用したりハビリ、運動支援、生活支援を行う。</li> </ul>   |     |                         |
| <p>具体サービス</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の介護施設に、AIやチャットボット機能を持った利用者管理システムの構築し、利用者に生活改善アドバイス、利用メニューや社会資源を提案する。</li> <li>・施設の利用を通じて、スマホ、eスポーツなど高齢者の利用を教育・支援し、デジタルが活用できる高齢者の増加をめざす。</li> <li>・生活改善アドバイスにより、専門職の支援が必要な場合は、包括支援センターを経由して、医療機関、薬局、各専門職へつなげる。</li> <li>・AIチャットボットとショッピングサイトをつなげ、地域商店と連携した買い物やショッピングリハビリサービスによる買い物を支援。</li> </ul> <div data-bbox="1182 603 2045 1043" data-label="Diagram"> </div> |     |                         |
| <p>主なKPI</p>  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①AIチャットボットの延べ利用者数</li> <li>②eスポーツの延べ利用者数</li> </ul> <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域デジタル推進員予備軍の人数</li> <li>②デジタルを活用できる高齢者数</li> <li>③高齢者等の利用者満足度</li> </ul>   |     |                         |


## 事業概要 【高齢者デジタルライフ・AI共同送迎】

|        |   |  |                         |
|--------|---|--|-------------------------|
| 実施地域   | 三重県いなべ市藤原地区   | 事業費  | 30,360千円                |
| 実施主体   | 三重県いなべ市、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、ショッピングリハビリカンパニー、ダイハツ工業株式会社  | 人口   | 44,838人<br>(5,740人藤原地区) |
| 事業概要   | <p>・いなべ市藤原地区において、A I を活用した共同送迎運行管理システム“ゴイッショ”を導入することで、介護施設の送迎効率化だけでなく、運転が困難な高齢者等も共同送迎の対象とし、通いの場への移動やショッピング等を支援。免許返納後でも、安心して自立した生活が送れる環境を構築する。</p>   |  |                         |
| 具体サービス | <p><b>【A I を活用した共同送迎】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A I 共同送迎システムを活用して、介護施設利用者だけでなく、“通いの場”の利用を希望する地域の高齢者を共同送迎の対象とする。</li> <li>・ 様々なサービスが享受できる多機能な“通いの場”を送迎付きで利用できる環境を構築。</li> <li>・ 介護保険の総合事業として、いなべ市独自にショッピングリハビリも導入し、A I 共同送迎システムによる移動を支援。</li> <li>・ スマホで簡単に予約できる仕組みを導入。利用者の乗降車時の確認及び支払い（実装時）は、マイナンバーカードや顔認証システムを活用し、スムーズに運用。</li> <li>・ 交通事業者と“通いの場”での接続を促進し、高齢者の外出促進、移動支援。公共交通機関等の利便性向上・利用促進にも取り組む。</li> </ul> |  |                         |
| 主なKPI  | <p><b>【アウトプット指標（活動指標）】</b></p> <p>①共同送迎サービス延べ利用者数<br/>(介護施設・通いの場への送迎)</p> <p>②共同送迎サービス延べスマホ予約者数<br/>(スマホでの“通いの場”予約数)</p>  | <p><b>【アウトカム指標（成果指標）】</b></p> <p>①高齢者の外出頻度</p> <p>②高齢者等の利用者満足度</p> |                         |

# 事業概要 【高齢者デジタルライフ・モバイルクリニック】

|               |  |   |                         |
|---------------|--|---|-------------------------|
| 実施地域          | 三重県いなべ市藤原地区  | 事業費   | 25,177千円                |
| 実施主体          | 三重県いなべ市、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、ショッピングリハビリカンパニー株式会社等   | 人口  | 44,838人<br>(5,740人藤原地区) |
| 事業概要          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いなべ市藤原地区は高齢化が進行し、令和3年には民間医院の閉院。徒歩圏に医療施設がなくなり医療サービス確保が課題。</li> <li>・オンライン診療のための専用車両を活用した診療・相談の環境・体制の構築。</li> </ul>  |   |                         |
| <p>具体サービス</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン診療のための専用車両を導入し、医療サービス体制を整備。</li> <li>・専用車両を活用し、医師、薬剤師、保健師、栄養士、理学療法士などによるモバイル相談体制を整備。</li> <li>・専用車両による、リハビリ指導とショッピングセンターへの移動送迎を融合したショッピングリハビリサービスのパッケージ化を行う。</li> </ul> |  <p>③ショッピングリハビリ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①オンライン診療（受診歴・処方箋等）</li> <li>②モバイル相談（健康、服薬、介護悩みごと・困りごと）</li> </ul>  |                         |
| <p>主なKPI</p>  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①モバイルクリニック（オンライン診療、モバイル健康相談、モバイル悩みごと相談）の延べ利用者数</li> <li>②モバイルクリニック専用車両を活用したショッピングリハビリサービス延べ利用者数</li> </ul>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①高齢者の健康診断の受診率</li> <li>②高齢者等の利用者満足度</li> </ul>  |                         |

## 事業概要 【オンライン手続きの拡充による住民サービスの向上】

|        |   |  |         |
|--------|---|--|---------|
| 実施地域   | 三重県志摩市  | 事業費  | 1,800千円 |
| 実施主体   | 三重県志摩市  | 人口   | 47,272人 |
| 事業概要   | <p>行政手続きのために仕事や余暇の時間を削って自治体窓口を訪れたり、手書きの作成で非常に手間がかかっていた住民や事業者に対して、あらゆる手続きに対応し、PC やスマートフォンなどデバイスを問わず電子申請ができる仕組みを提供する。これまで、本人確認が必要であった手続きはマイナンバーカード等と連携した電子認証機能を導入する。また、申請者と自治体をデジタルでつなぐ双方向のコミュニケーションを実現するため、申請後のやりとりを実現し、多くの手続きのデジタル完結を推進する。</p>  |  |         |
| 具体サービス | <p>【電子申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ノーコード電子申請システム「LoGo フォーム」<br/>株式会社トラストバンク社が「LGWAN ASP サービス」として提供している自治体職員が電子申請や申込予約、アンケートなどのフォームを作成・集計し、一元管理できる自治体専用の「ノーコード電子申請システム」。</li> <li>● LoGo フォームと連携もしくは拡充する機能</li> <li>・マイナンバーカードを活用した「公的個人認証」<br/>(株) xID が提供する xID アプリ等)</li> <li>・申請者と住民をつなぐ双方向のコミュニケーションを実現する「デジタル窓口」(LoGo フォーム機能内の拡充)</li> <li>・ぴったりサービスとの連携により、手続きオンライン化を拡充する。(LoGo フォーム機能内の拡充による連携)</li> </ul> |  |         |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①電子化手続きにおける電子申請利用割合</p>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①次回も電子申請を継続利用したい人の割合</p>                                   |         |

## 事業概要 【公共施設予約のオンライン化】

|        |   |   |          |
|--------|---|---|----------|
| 実施地域   | 三重県伊賀市  | 事業費   | 14,352千円 |
| 実施主体   | 三重県伊賀市  | 人口  | 87,390人  |
| 事業概要   | 市内の公共施設予約をオンライン化し、施設の予約管理や有料施設の電子決済及び、ワンタイムパスワードと電子錠の組み合わせによる施設の施錠のデジタル化を図る。これにより、利用者及び運営側の利便性の向上を図り、より効率的な公共施設の利用促進に繋げる。   |   |          |
| 具体サービス | <p>インターネット上で公共施設の空き状況を確認しながらリアルタイムに予約が行え、有料施設については電子決済まで行う事ができるサービスと、(スマートロック機器)の導入。開錠時の鍵の認証や開・施錠履歴管理のため、電子錠 (Box) と予約管理システムをネットワークを介し連携させるために必要な通信環境 (Wi-Fi) を、本事業の整備対象とし計画している施設に設置する。</p> <p>【施設予約管理サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット予約システム</li> <li>・スマートロック機器</li> </ul> <p>【電子錠制御管理用通信環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設 (小中学校28校) へのインターネット回線の敷設及びWi-Fiルーターの設置</li> </ul> | <p>インターネット回線</p> <p>電子鍵認証、開錠・施錠履歴、遠隔管理</p> <p>LockState connect Cloud-based server</p> <p>予約システム まちかぎリモート</p> <p>鍵の貸し出し・返却を遠隔で安全に管理</p> |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① サービス利用回数</li> <li>② 予約可能公共施設数</li> </ol>  | <p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① サービスの満足度</li> </ol>  |          |

# 事業概要 【税務証明コンビニ交付サービス導入事業】

|               |  |  |          |
|---------------|--|--|----------|
| 実施地域          | 全国   | 事業費  | 19,784千円 |
| 実施主体          | 三重県伊賀市   | 人口   | 87,390人  |
| 事業概要          | <p>住民の利便性向上を目的とし、全国の指定コンビニエンスストア等で税務証明が取得できるようにする。すでに住民票の写し等の交付で稼働しているマルチコピー機（キオスク端末）によるコンビニ交付サービスを利用して追加交付する。</p> <p>※参考：現在取得可能な証明書と年間発行部数</p> <p>①住民票の写し 4,272部、②印鑑登録証明書 3,711部、③戸籍の全部事項証明書 887部、④戸籍の個人事項証明書 457部、⑤戸籍の附票の写し 100部</p> |  |          |
| <p>具体サービス</p> | <p>(1) 対象<br/>本市に住民登録のある人で利用者証明用電子証明書を格納した個人番号カードを所持している人</p> <p>(2) 利用時間<br/>6時30分から23時まで（年末年始及びシステム休止日を除く。）</p> <p>(3) 追加交付する証明書の種類</p> <p>① 所得証明書（最新年度のみ）<br/>② 課税証明書（最新年度のみ）</p>   |  |          |
| <p>主なKPI</p>  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①コンビニ交付サービスによる税務証明交付件数<br/>②庁舎閉庁時間におけるコンビニ交付サービスによる税務証明交付件数</p>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①コンビニ交付サービスの市民満足度<br/>②マイナンバーカードの普及率</p> |          |

## 事業概要 【統合型・公開型GIS構築事業】

|        |   |   |         |
|--------|---|---|---------|
| 実施地域   | 三重県桑名郡木曾岬町  | 事業費   | 4,615千円 |
| 実施主体   | 木曾岬町  | 人口  | 6,006人  |
| 事業概要   | <p>地理情報システム（GIS）により、都市計画図やインフラ情報などの庁舎内に点在する地図情報・行政情報を一元管理し、公開可能な情報を住民や事業者へオープンデータ化することでデータ利活用における利便性向上を促進するため公開型GISを整備する。公開するにあたり、継続して更新・運用していく必要があるため、庁内において地図情報と行政情報を集約する統合型GISの整備を整備する。</p>  |   |         |
| 具体サービス | <p>【公開型GIS】<br/>           庁内に点在する情報のオープンデータ化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画用途地域</li> <li>ハザードマップ、避難所、消火栓、防火水槽</li> <li>上下水道情報</li> <li>バス路線、停留所、BWA（地域広帯域移動無線アクセス）関連<br/>各地点の通報先情報等</li> </ul> <p>【統合型GIS】<br/>           公開する地図情報及びその他地図情報の集約・共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>航空写真、共有デジタル地図</li> <li>地番図、家屋図、路線価図</li> <li>通報対応状況</li> </ul> |   |         |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①GIS登録レイア数</li> <li>②公開型GIS関連情報アクセス数</li> </ol>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①都市計画・上下水道情報問合せ数</li> </ol> |         |

# 事業概要 【クラウド型被災者支援システムを活用した地域の安全性向上】

|               |   |   |         |
|---------------|---|---|---------|
| 実施地域          | 三重県東員町全域  | 事業費   | 3,003千円 |
| 実施主体          | 三重県東員町、株式会社三重電子計算センター   | 人口  | 25,923人 |
| 事業概要          | <p>平時から災害時までの被災者支援業務の迅速化・効率化に寄与するための「クラウド型被災者支援システム」を構築する。住基情報をベースに被災者支援に関するデータを整備し、平時における避難行動要支援者名簿、個別避難計画の作成、また被災時における被災者台帳の整備、罹災証明書、被災証明書等のオンライン申請を可能とする仕組みを導入する。</p>  |   |         |
| <p>具体サービス</p> | <p>クラウド型被災者支援システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災者支援<br/>被災者台帳、避難行動要支援者関連情報を整備することにより、平時には避難訓練、見守り活動等に活かす。<br/>避難所情報の管理を行うことで、避難所における住民等の入退所管理を可能とする。</li> <li>オンライン申請・コンビニ交付等<br/>コンビニエンスストアでの罹災証明書、被災証明書の交付により、密を回避する。<br/>また各種被災者支援手続きのオンライン申請にも対応し、住民が速やかに安定した生活を取り戻すための仕組みづくりを行う。</li> </ul> | <p>住民基本台帳 (住民情報: 住所、氏名、年齢等)</p> <p>・平時からの住民情報のバックアップデータの確保により、庁舎被災時の業務継続が可能</p> <p>被災者台帳の活用による<br/>・被災状況に応じた援護対象者の抽出<br/>・被災者の被害状況・居所等の共有<br/>・援護の実施状況等の確認 等</p> <p>自治体基盤クラウドシステム</p> <p>① 被災者支援システム機能</p> <p>被災者台帳機能<br/>避難行動要支援者関連機能<br/>避難所関連機能</p> <p>② オンライン申請・コンビニ交付等機能</p> <p>・避難行動要支援者名簿・個別避難計画等の作成・更新促進<br/>・災害時の支援の迅速化等</p> <p>・避難所運営管理の効率化</p> <p>避難所受付</p> <p>避難所入所管理 (マイナンバーカード活用を検討)</p> <p>・コンビニエンスストアでの罹災証明書・被災証明書の交付により、密を回避</p> <p>コンビニ交付</p> <p>オンライン申請 (マイナンバー利用)</p> |         |
| 主なKPI         | <p>【アウトプット指標 (活動指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①避難行動要支援者名簿登録者数</li> <li>②個別避難計画作成数</li> <li>③見守り活動回数</li> </ol>  | <p>【アウトカム指標 (成果指標)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①災害関連死傷者数</li> <li>②要支援者避難対策に対する満足度</li> <li>③</li> </ol>  |         |



# 事業概要 【デジタルを活用した新窓口サービス導入事業】

|               |   |   |          |
|---------------|---|---|----------|
| 実施地域          | 三重県東員町  | 事業費   | 43,331千円 |
| 実施主体          | 三重県東員町、富士フィルムシステムサービス株式会社、三重データ通信株式会社、株式会社中部しんきんカード他  | 人口  | 25,923人  |
| 事業概要          | <p>本町は、近年人口が増加傾向にある一方で急速な高齢化が進んでいるが、来庁しての窓口での行政手続きによる住民の負担が大きく、感染症リスクも大きくなるため、全住民が享受可能な窓口、申請サービスを構築する事が急務である。そのため、書かない窓口システム、電子申請システム及びキャッシュレス・セミセルフレジの導入を行い、感染症対策、住民サービスの向上、滞在時間の短縮及び更なる業務効率化を図る。</p>  |   |          |
| <p>具体サービス</p> | <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>①書かない窓口システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者が記入する住民異動届をOCRで転出証明書などを読み取ることで、システム上で作成することができ、転入者の負担が軽減される。</li> <li>・転入に伴う、児童手当や子ども医療助成等の各種申請書にも反映することができ、申請者の負担軽減と滞在時間の短縮になる。</li> </ul> <p>②電子申請システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンやパソコン等のインターネット上で、マイナンバーカードを活用したオンライン申請ができ、いつでもどこでも申請が可能となる。</li> </ul> <p>③キャッシュレスシステム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済端末により様々な決済サービスを利用者が選択できるようになる。</li> <li>・自動釣銭機による正確、迅速なレジの提供</li> </ul> </div> <div style="flex: 2;"> </div> </div> |   |          |
| <p>主なKPI</p>  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①引っ越しワンストップ及びOCR利用割合</li> <li>②デジタル申請の利用件数</li> <li>③キャッシュレス決済の利用比率</li> </ol>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①最大待ち時間の減少</li> <li>②転出届の窓口申請件数の減少</li> <li>③窓口利用者の満足度</li> </ol> |          |

## 事業概要 【デジタルサイネージ等を活用した地域の魅力向上】

|        |  |  |          |
|--------|--|--|----------|
| 実施地域   | 三重県東員町全域   | 事業費  | 26,281千円 |
| 実施主体   | 三重県東員町、株式会社ラッキータウンテレビ、株式会社バッファロー他  | 人口   | 25,923人  |
| 事業概要   | 本町の観光資源である都市公園やスタジアム周辺を中心にデジタルサイネージを整備し、地域・行政情報を発信するとともに、ARアプリを活用して地域の魅力を楽しんでもらうためのデジタルサービスを提供する。  |  |          |
| 具体サービス | <p>①デジタルサイネージ<br/>本町の観光資源である中部公園とスタジアム、本町の主要鉄道駅と役場施設にデジタルサイネージを整備し、来訪者に向けて地域・行政情報を提供する。</p> <p>②ARアプリ<br/>中部公園散策やスタジアムでの観覧時において、AR等デジタル技術を活用し、アミューズメント要素を付加するアプリサービスを提供する。</p> |  <p>The illustration is divided into two parts. The top part shows a soccer stadium with a digital scoreboard and a person using a smartphone to view AR content. The bottom part shows a park with a fountain, playground, and a person using a smartphone to view AR content. A bus stop with digital signage is also shown.</p> |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①デジタルサイネージの情報発信件数<br/>②ARアプリの利用回数<br/>③</p>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①デジタルサイネージ利用者満足度<br/>②ARアプリ利用者満足度<br/>③ヴィアティン三重ホーム戦の平均観客者数</p>   |          |

## 事業概要 【デジタル図書館事業】

|        |   |  |                   |
|--------|---|--|-------------------|
| 実施地域   | 三重県三重郡菰野町   | 事業費  | 2,817千円           |
| 実施主体   | 菰野町図書館  | 人口   | 41,295人 (R4.12.1) |
| 事業概要   | <p>PCやスマートフォン等のインターネット環境下において、書籍や郷土資料が閲覧可能な電子書籍サービスを導入し、利用者がいつでもどこでも読書ができる環境を整備することで、普段から電子書籍を利用している若年層や、図書館に訪れることが難しい方への対応、貸出・返却及び書籍の補修等に係る職員負担の軽減を図る。また、町民が気軽に読書や郷土資料に触れることができる環境を整備することで、町の生涯学習の推進に寄与することができる。</p> |  |                   |
| 具体サービス | <p>【デジタル図書館事業】<br/>デジタル化された蔵書・資料をクラウド上に保存し、住民が図書館へ行かずとも閲覧が可能な環境を構築。サービス利用希望者（町民、在勤者、在学者に限る）にはIDとパスワードを発行する。</p>   | <pre> graph TD     User[利用者] -- ログイン --&gt; Cloud[電子図書館クラウド]     Cloud -- 閲覧 --&gt; User     User -- 登録申請 --&gt; Library[図書館]     Library -- 登録 --&gt; User     Library -- 管理・運用 --&gt; Cloud     </pre> |                   |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①電子書籍導入冊数</li> <li>②利用登録者数</li> <li>③電子書籍貸出冊数</li> </ul>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①電子図書館満足度</li> <li>②</li> <li>③</li> </ul>   |                   |

# 事業概要 【御浜町行政手続デジタル化事業】

|        |  |  |          |
|--------|--|--|----------|
| 実施地域   | 三重県御浜町   | 事業費  | 19,740千円 |
| 実施主体   | 三重県御浜町   | 人口   | 8,093人   |
| 事業概要   | <p>行政手続における住民の皆さんの利便性向上を図るため、電子申請システムの活用により行政手続のデジタル化を推進し、いつでも、どこでも、どなたでも簡単にインターネットを通じて手続を行うことができる状況をめざす。</p> <p>また、行政手続をデジタル化する際に課題となるバックオフィス部分の業務フロー等について、デジタル化を前提としたものへの見直しを合わせて行うことで、内部手続きの効率化、生産性のさらなる向上を図り、住民へのより迅速な対応を可能とし、申請から通知までの時間短縮を図る。</p>  |  |          |
| 具体サービス | <p>【電子申請・届出サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン、パソコン等からのインターネットでの電子申請・届出の受付を実施し、場所、時間を選ばない申請・届出を可能とする。</li> </ul> <p>【行政手続デジタル化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子申請・届出の受付等に合わせた行政手続デジタル化の推進のため、業務手続きの見直し（BPR）を行い、ICT等による内部手続きの効率化を実施し、申請から通知までの時間短縮を図る。</li> <li>RPA、AI-OCR等の技術は、タクシーチケット申請等での申請情報の入力補助やチケット発行までの効率化等に活用し、AI文字起こし等の技術は、施設入所申請等における聞き取りや審査会等に活用し、申請から通知までの時間短縮を図る。</li> </ul> |  |          |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電子申請手続件数</li> <li>②電子申請件数</li> <li>③ICTを活用した手続きの処理件数</li> </ol>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①電子申請・届出サービスの満足度</li> <li>②申請から通知までの時間の軽減率</li> <li>③</li> </ol> |          |

# 事業概要 【認定こども園ICT化による保育環境・子育て環境向上事業】

|        |   |  |         |
|--------|---|--|---------|
| 実施地域   | 三重県御浜町  | 事業費  | 8,020千円 |
| 実施主体   | 三重県御浜町  | 人口   | 8,093人  |
| 事業概要   | <p>町内の公立認定こども園では、保護者とのやり取りを電話や紙で行っており、保護者にとって情報の発信・受信できる場面が限定的なものとなっている。また保育士の業務についても、指導案や日誌等の書類作成、連絡帳などの手書き業務等、事務作業も多く、超過勤務の増加に繋がっている。そこで、2ヶ所の認定こども園にICTを活用した保育業務支援システムを導入することにより、保護者の利便性向上と保育士の業務負担軽減を図る。</p>   |  |         |
| 具体サービス | <p>【登降園記録の自動化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICカードによる画面タッチで、時間をデータ管理。</li> </ul> <p>【保護者連絡のスマート化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席、預かり時間の変更などの連絡をアプリで行うことができる。（現在は電話連絡）</li> <li>・園児に関する連絡事項について保育士と保護者がアプリを介し随時行うことができる。（現在は電話もしくは登園時、降園時の口頭伝達）</li> <li>・緊急連絡やお便りをアプリにて配信（現在は紙、もしくは電話での連絡）</li> </ul> <p>【帳票の連動による保育士業務の効率化】</p> <p>児童票、成長記録、出席簿、園日誌、健康診断記録等のデータ連携による転記作業の省力化等。デジタル化された園児・保育情報を職員間で共有することが可能となる。（現在は紙・口頭での共有）</p> | <p>先生の毎日をサポートする多様なサービス</p>   |         |
| 主なKPI  | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①保育所から保護者への情報発信数</li> <li>②アプリのダウンロード数</li> <li>③</li> </ol>   | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①システム利用満足度（保育サービスに対する満足度）</li> <li>②保育士（正規職員）の超過勤務の減少時間数</li> <li>③</li> </ol> |         |

## 事業概要 【学校給食費システム管理導入事業】

|               |  |  |         |
|---------------|--|--|---------|
| 実施地域          | 三重県御浜町   | 事業費  | 5,438千円 |
| 実施主体          | 三重県御浜町   | 人口   | 8,093人  |
| 事業概要          | <p>学校給食費の業務に関し、児童生徒の保護者情報等を紙媒体で管理しているため事務量が多大であり、他の業務を圧迫している。学校給食費システムの導入により事務量を削減し、食育事業や他の給食業務に割く時間を増やすことで取組をより一層充実したものとする。</p>   |  |         |
| <p>具体サービス</p> | <p>【サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食の提供</li> <li>健康的な生活を過ごすための食育の推進</li> <li>給食費月額保護者への個別通知</li> </ul> <p>【学校給食費管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食費の情報管理</li> <li>学校給食の個別通知</li> <li>学校給食費の徴収</li> </ul> | <p>The illustration is divided into two horizontal sections. The top section shows a farmer in a straw hat holding a basket of fresh vegetables, with a grey arrow pointing to two children sitting at a table eating a meal. The bottom section shows a woman sitting at a desk using a laptop, with a grey arrow pointing to a woman holding a printed document, representing the transition from digital management to physical notification.</p> |         |
| 主なKPI         | <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①学校給食費通知書の発行回数</li> <li>②献立の目的を記載した一口メモの発行回数</li> <li>③</li> </ol>  | <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①給食費個別通知発行満足度</li> <li>②時間外労働時間の削減</li> <li>③給食を美味しいと思う児童生徒の割合</li> </ol>  |         |